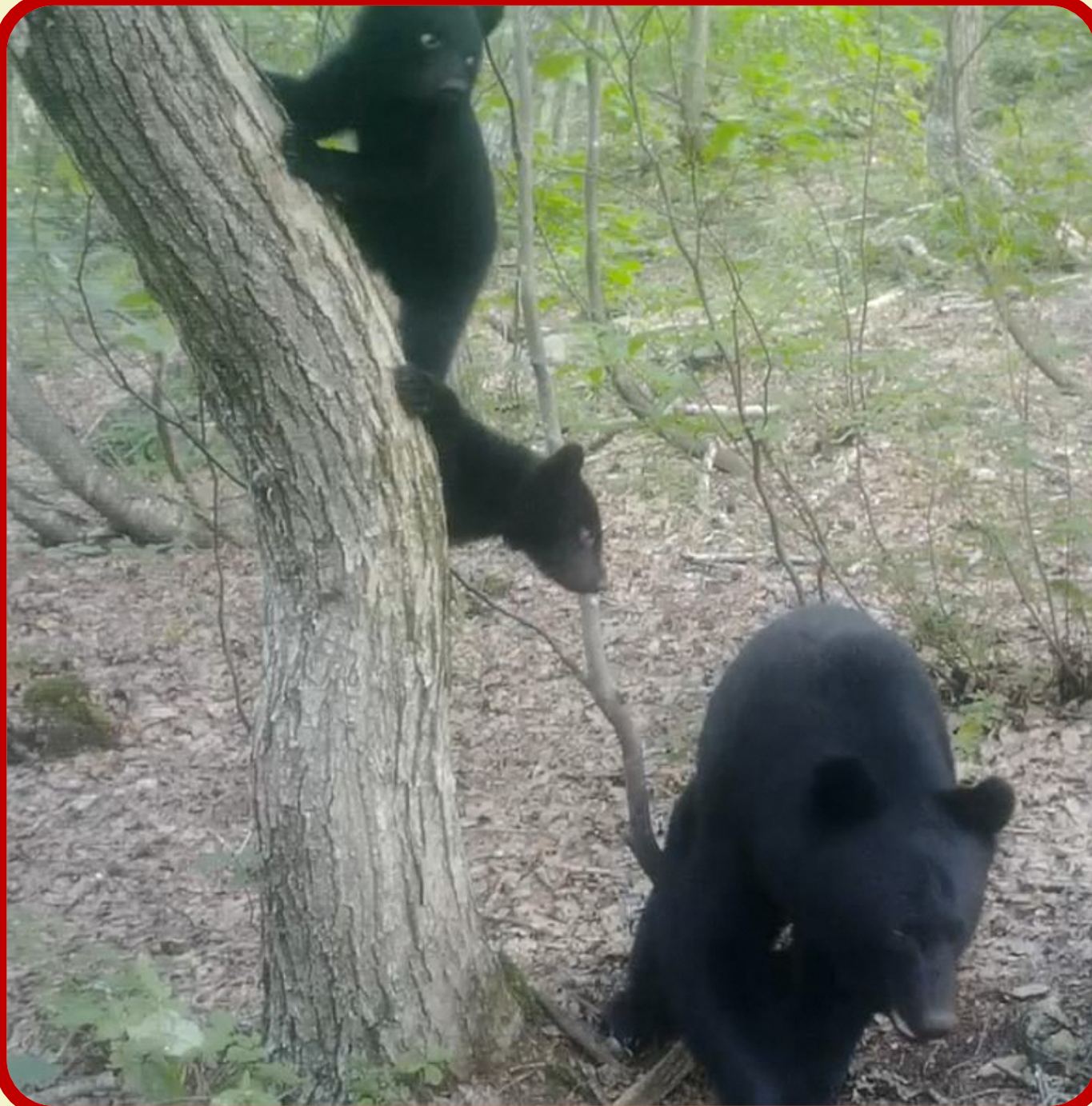


クマに注意！

クマを知って、被害を防ごう



飛騨市神岡地区で撮影した親子グマ(センサーカメラで撮影:2024/8/7)

岐阜県 環境生活部 環境生活政策課

クマの基本生態と生活史は？

クマは季節や年によって
行動や食べ物を柔軟に変化させます
クマを知って事故を防ぎましょう

クマの基本的な特徴

- ☐ 聴覚と嗅覚が発達
- ☐ 木登りが得意
- ☐ 学習能力が高い
- ☐ 植物食中心の雑食性
- ☐ 機会があれば他の動物も食べる
- ☐ 食べ物への執着心が高い
- ☐ 初夏と秋には行動圏が拡大するため
出沒リスクが高まる

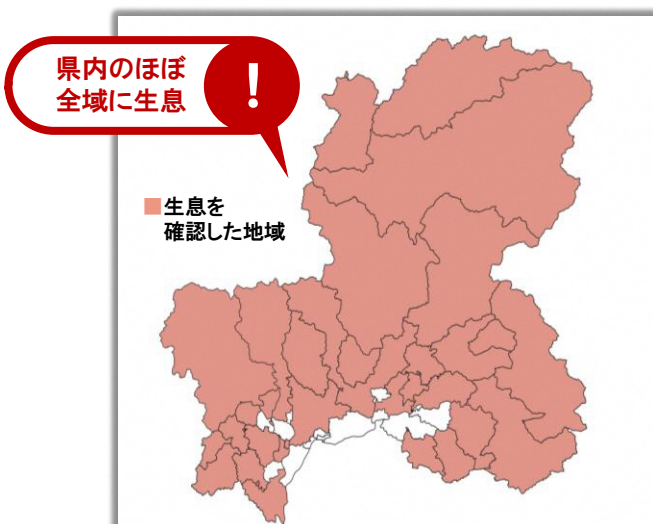


県内のクマの生息状況は？

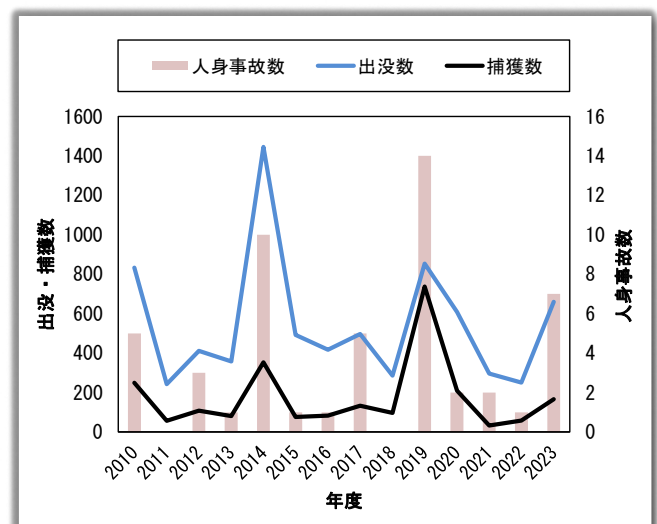
個体数は増加中、出沒・事故情報数に関わらず注意が必要です

岐阜県の生息状況

- ☐ ツキノワグマは県内のほぼ全域に生息している
- ☐ 県内の推定生息数は3,708頭※であり、増加傾向にあると考えられている
※MCMC法によるベイズ推定の中央値(2022年度時点)
- ☐ 出沒・捕獲数は年次変動があるものの横ばい傾向にある
- ☐ 県内の人身事故数の増減は出沒・捕獲数と関連している



ツキノワグマの分布域



出沒・捕獲・人身事故数の推移

被害対策の紹介 クマに出会わないために出来ることは？

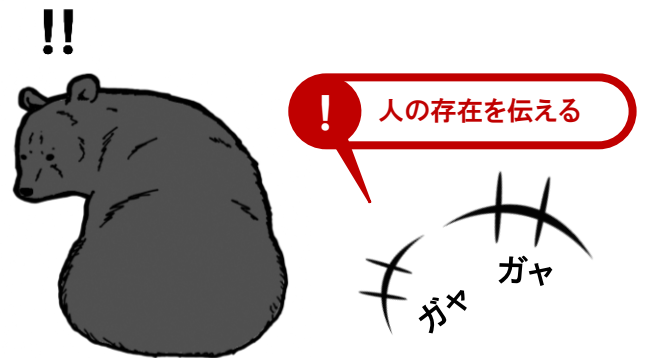
クマにとって魅力のない環境作りが重要です

人の生活圏への出没防止

- ☐ 侵入経路になる集落周辺のやぶの刈払い
- ☐ 誘引物の除去、適切な管理
- ☐ 除去できないものには電気柵の設置

クマの生息域での事故防止

- ☐ 出没情報のチェック
- ☐ 入山する時は2人以上で行動
- ☐ 鈴やラジオで音を出す
- ☐ クマの気配や痕跡があったら立ち去る
- ☐ ゴミや食べ物を放置しない
- ☐ 薄明薄暮の時間帯は林縁に近づかない
- ☐ やぶ等の見通しが悪い場所や沢沿い等の音が聞こえ難い場所は注意
- ☐ クマスプレーを携帯する



対処法の紹介 クマに出会ってしまった時に取るべき行動は？

万が一の際には落ち着いて行動することが大事です

クマと出会ったら

- ☐ クマを刺激しない
- ☐ 子グマに注意(近くに親がいる)
- ☐ 背中を見せずにゆっくりと後退する

クマが向かってきたら

- ☐ 突進のほとんどは威嚇突進
- ☐ クマと自身の直線上に障害物を挟む
- ☐ クマスプレーを使用する
- ☐ 防御態勢をとる



飛騨市での調査結果概要

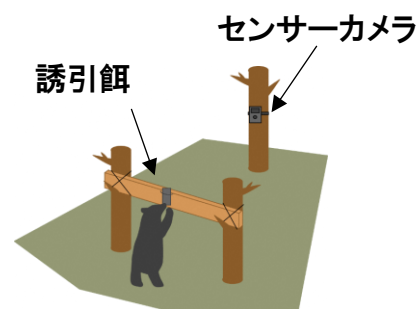
飛騨市神岡地区でツキノワグマの生息状況調査を実施しました

調査方法

【前提情報】クマの胸部斑紋の形は個体によって異なるため個体識別が可能

- 胸部斑紋を撮影できるトラップを
飛騨市神岡地区の山林に25台設置
- 撮影されたクマの胸部斑紋から個体識別
- 識別した個体と有害捕獲個体の胸部斑紋を照合
- ▶ どれぐらいの個体が市街地周辺を利用し
かつ、それらの個体が捕獲されたのかを確認
- トラップ設置期間：2024年7月頭～9月末※

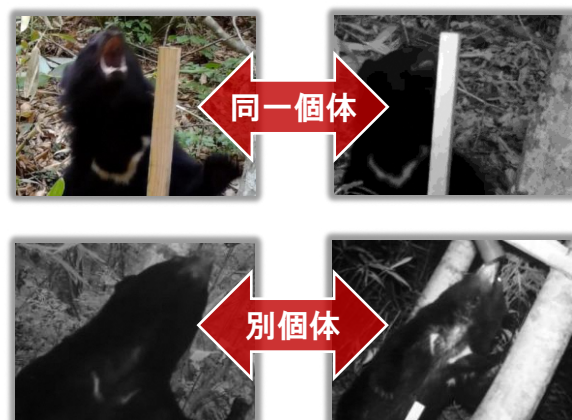
※有害捕獲個体との照合は11月末まで実施予定



トラップの構造概要

結果概要(速報)

- 神岡地区周辺で22頭のクマを識別
- 複数地点で確認されたクマは1頭のみ
- 識別した個体と有害捕獲個体に
同一個体はいなかった
- ▶ 市街地周辺に定住している個体は
少ないと考えられる
- ▶ 市街地周辺を行動圏の一部として
利用している個体が多く存在している
可能性がある(≡行動圏の中心は奥山)



個体識別の結果(一例)

目撃情報の呼びかけ

- 安全な暮らしのためにクマの目撃情報をお寄せください
皆様のご協力が地域の安心につながります
- クマの目撃情報はお近くの市町村、岐阜地域環境室
または県事務所環境課へご連絡ください

県域統合型GIS 岐阜県クママップ

岐阜県内でのクマ目撃情報を
確認できます

▼詳しくはこちら



岐阜県 環境生活部 環境生活政策課

連絡先 058-272-1111

発行 2024年10月

編集 (株)野生動物保護管理事務所

令和6年度

「アーバンベアモニタリング調査業務委託」の一環として作成

※無断転載・複製を禁止します